



工藤篤子メールマガジン 171号 2011.03.25

●日本被災地支援チャリティーコンサート

東北関東大震災の甚大被害に、未だ容易に言葉を発することのできない日々が続いています。被災された皆様には、日々、主の助けと慰めがありますようにと、毎日心を込めて祈っています。

私の方には、今も、日本、欧州だけでなく、アメリカ、スペイン、イスラエルからも、安否を気遣うメールや電話が入っています。今日も、世界中のクリスチャンが、日本のために、全能の神に向かって熱い祈りを捧げてくださっています。

●チャリティーコンサート

4月2日、ハンブルク日本語教会が日本被災地支援チャリティーコンサートを開催します。

ハンブルク日本語教会関係者とリュウベック日本語集会のオルガニスト、ピアニスト、声楽家の皆さんが、バッハや詩篇 23 篇などの賛美曲を中心に、ソロ、デュエットで演奏します。プログラムの最後に、教会の皆さん全員で、1923 年の関東大震災の時に J.V マーティン氏が作られた「とおきくにや」を賛美させていただく予定です。集められた義援金は、被災地救援をされているワールド・ビジョンにお捧げします。

多くの義援金を集められると同時に、真の救い主、助け主、慰め主であるイエス様を証しするコンサートとなることを心から願っています。多くのドイツ人、日本人、ハンブルク在住の皆さんが集められ、願わくは、このコンサートを通して、主がまだ主を知らない方を救いへと導いてくださいますように。どうぞお祈りお支えください。また、ハンブルク、その近郊にお知り合いの方がいらっしゃいましたら、お知らせいただけますなら感謝です。

コンサートでは、私は、教会の井野葉由美宣教師と、バッハの曲や詩篇 23 篇などをデュエットで歌わせていただく予定です。特に、詩篇 23 篇は、震災が起ってから、ずっと被災者のための祈りとなってきました。一人でも多くの方がイエス様にある永遠の救いに導かれ、この主の守りと祝福に導き入れられますように！主にあって、被災地で奮闘されている兄弟姉妹の皆さんには、主が日々新たな力を注いでくださり、いつくしみと恵みの中で守り、用いてくださいますようにと祈っています。

詩篇 23 篇

主は私の羊飼ひ。私は、乏しいことはありません。

主は私を緑の牧場に伏させ、いこいの水のほとりに伴われます。

主は私のたましいを生き返らせ、御名のために、私を義の道に導かれます。

たとい、死の陰の谷を歩くことがあっても、私はわざわざいを恐れません。

あなたが私とともにおられますから。あなたのむちとあなたの杖、それが私の慰めです。

私の敵の前で、あなたは私のために食事をととのえ、私の頭に油をそそいでくださいます。

私の杯は、あふれています。

まことに、私のいのちの日の限り、いつくしみと恵みとが、私を追って来るでしょう。

私は、いつまでも、主の家に住まいましょう。

祈りをもって

工藤 篤子

※以下、4月2日のチャリティーコンサートのインフォメーションです。(日本語とドイツ語)

日本被災地支援チャリティーコンサート Benefizkonzert für Japan

時： 2011年4月2日(土) 18:00~ 所： FeG Holstenwall 教会

Michaelispassage 1, 20459 Hamburg S1 Stadthausbrücke 下車

Michaelisstr.側出口 右手すぐ

入場無料 (被災地支援のための義援金をお願いします)

Datum: Sa., 2. Apr. 2011, 18.00Uhr

Ort: FeG Holstenwall

Michaelispassage 1, 20459 Hamburg

S1 Stadthausbrücke

Eintritt frei Spende erbeten

送金先: World Vision (www.worldvision.de)

Frankfurter Volksbank BLZ: 501 90000

Spendenkonto: 2020

Stichwort: ErdbebenJapan

主催: ハンブルグ日本語福音キリスト教会

(www.nd-jcf.de) + FeG Holstenwall

Veranstalter: Japanische e. c. Gemeinde

Hamburg + FeG Holstenwall

お問合せ/Kontakt: Hayumi Ino 040-28515246 liebehayumi@yahoo.co.jp

